

2022 年 12 月 16 日

報道関係各位

一般社団法人 日本化学工業協会

## 次世代人材育成に向けた大学院への支援を決定 －化学人材育成プログラムにおける取り組み－

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:福田 信夫(三菱ケミカル(株)代表取締役)、以下「日化協」)は、このたび、「化学人材育成プログラム」(以下「本プログラム」)の第 13 回支援専攻選定審査を行い、2023 年度から支援対象となる 6 専攻を決定いたしました。(支援期間:6 年)

大阪大学大学院	理学研究科	化学専攻
鹿児島大学大学院	理工学研究科	総合理工学専攻
九州大学大学院	工学府	応用化学専攻
筑波大学大学院	数理物質科学研究群	化学学位プログラム
東京工業大学	物質理工学院	応用化学系
東京大学大学院	工学系研究科	化学生命工学専攻

(50 音順)

国際競争が激化する中、わが国全体として基礎研究力の維持・向上、企業における高度理系人材の必要性、そして博士学位取得の重要性がさらに増えています。日化協は、大学院の化学系博士後期課程において、深い専門性と幅広い基礎的学力に加え、課題設定・解決ができる研究マネジメント力なども視野に入れた教育を行う大学院専攻とそこに所属する博士課程学生を支援することを目的に、2010 年に本プログラムを創設しました。

現在、この運営を行っている化学人材育成プログラム協議会には、日化協の会員企業 32 社が参加し、特に化学系の大学院博士後期課程の中で先進的な取り組みを行う専攻に対して、企業との交流、産業教育や就職活動の支援、奨学金の給付などを行っております。(詳細は別紙ご参照)

第 13 回支援専攻選定審査では、例年どおり 9 月から募集を開始し、一次審査(書類審査)、二次審査(プレゼンテーション審査)を経て、化学産業界が求める高度理系人材育成に尽力していると評価された上記 6 専攻(継続 4, 新規 2)を支援専攻に選定いたしました。

今後も日化協は、本プログラムを通じ化学業界と大学とのさらなるコミュニケーションの強化に努め、産学連携の一層の深化により化学産業の将来を担う次世代人材の育成を推進してまいります。

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先(一般の方)】

一般社団法人日本化学工業協会 技術部 (担当:蒲原/黛)  
TEL: 03-3297-2578

### 【本件に関するお問い合わせ先(メディアの方)】

一般社団法人日本化学工業協会 広報部 (担当:塗木)  
TEL: 03-3297-2555

## 化学人材育成プログラム 詳細

### (1) 支援内容

1. 奨学金の給付: 支援専攻の中から、特に優れた人材育成の取り組みを行っている専攻を選定し、各専攻から推薦された学生に対して奨学金を給付します。

給付金額: 1 学生あたり月額 20 万円

給付人数: 1 専攻あたり 3 名 (2023、2024、2025 年度に 1 名ずつ推薦可)

給付期間: 1 学生あたり原則 36 ヶ月間

2. 就職の支援: 支援専攻に所属する博士課程学生に対し、企業活動の理解浸透およびキャリアデザインの情報提供を行う就職イベントを開催します。
3. 大学・企業の交流促進: 学生の研究活動発表、企業で働く博士の活躍事例紹介を通じ、大学と企業の相互理解を進めます。
4. 化学産業教育の支援: 化学産業の魅力を伝え、化学産業が求める技術系人材像、キャリアパスなどを学生に発信する講義を提供します。

### (2) 支援専攻 (2022 年 11 月現在 計 18 専攻)

北海道大学大学院 総合化学院 総合化学専攻

東北大学大学院 理学研究科 化学専攻

東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻

東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻

東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻

東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻

東京工業大学大学院 物質理工学院 応用化学系

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻

横浜国立大学大学院 理工学府 化学・生命系理工学専攻

長岡技術科学大学 工学研究科 エネルギー・環境工学専攻

京都大学大学院 工学研究科 高分子化学専攻

大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻

大阪大学大学院 理学研究科 化学専攻

大阪公立大学大学院 理学研究科 化学専攻

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 先端科学技術専攻

神戸大学大学院 工学研究科 応用化学専攻

九州大学大学院 工学府 応用化学専攻

九州大学大学院 理学府 化学専攻

(3) 化学人材育成プログラム協議会 について

本プログラムを進めるにあたり、運営を行う組織として日化協内に設置された協議会。  
実際の支援は、以下の参加企業による寄付金を基に行われています。

旭化成株式会社  
株式会社ADEKA  
AGC株式会社  
ENEOS株式会社  
花王株式会社  
株式会社カネカ  
株式会社クレハ  
三洋化成工業株式会社  
昭和電工株式会社  
信越化学工業株式会社  
JSR株式会社  
住友化学株式会社  
住友ベークライト株式会社  
積水化学工業株式会社  
株式会社ダイセル  
DIC株式会社  
デンカ株式会社  
東亜合成株式会社  
東ソー株式会社  
東レ株式会社  
株式会社トクヤマ  
日油株式会社  
日産化学株式会社  
日東電工株式会社  
日本化薬株式会社  
株式会社日本触媒  
日本ゼオン株式会社  
富士フイルム株式会社  
三井化学株式会社  
三菱ガス化学株式会社  
三菱ケミカル株式会社  
UBE株式会社 (計 32 社)

(4) 後援

文部科学省、経済産業省、公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、  
公益社団法人高分子学会

以上